

文化庁
ウィズコロナにおける
オンライン日本語教育実証事業

コース説明資料

株式会社JTB

公募する実証事業について

実証事業

事務局が全国各種学校日本語教育協会と開発するオリジナル教材・カリキュラムを実証するパッケージコース(全3コース)と各日本語教育機関独自のカリキュラムを用いて行うフリーコースがある。

フリー
コース

スタンダード
コース

観光コース
(観光場面を通じた
日本事情)

就労コース
(就労場面を通じた
日本事情)

フリーコース

特徴

学校独自のカリキュラムや指導法に基づき、多様な実証を行います。更に、新たに教材の開発、カリキュラムの作成、受講生の環境に合わせた方法でオンライン教育が行えるように環境を整えていきます。

日本語レベル	手法
A1,A2,B1.B2, C	オンライン型、ハイブリッド型、オンデマンド型、ハイフレックス型



実施回数・頻度

各日本語教育機関のカリキュラムによって変動

シラバス概要

- 各日本語教育機関がもつ実績を生かし、よりよいオンライン日本語教育を確立するための実証を行うコースです。
- ①学校独自のカリキュラムや指導法を用いて、オンラインによる日本語教育の授業実証を行います。
 - ②オンラインによる日本語教育に適した教材(動画を含む)、カリキュラム検討、作成および実証を行います。オンライン教育に適した新たな教材やカリキュラム等の開発を行い、指導法を確立していきます。

フリーコース

概要	目的	オンライン教育スキルの底上げを行うと共に、学校独自のカリキュラムや指導法による効果を実証していく。多様なオンライン日本語教育を実施し、その効果を実証していく。
	概要・特徴	学校独自のカリキュラムや指導法に基づき、多様な実証が行える。
実証内容	日本語レベル	「日本語教育の参照枠」に示されたA1、A2、B1、B2、Cのレベル別。
	手法	オンライン型、ハイブリッド型、オンデマンド型、ハイフレックス型
	言語活動	読む、書く、話す、(やりとり・発表)、聞く、日本事情
	言語種別	漢字圏・非漢字圏
	実証期間	10月～12月
	実施頻度・回数	問わない。週●回×●週間(合計●回)等、実施頻度・回数がわかるように記載すること。
	使用教材	問わない。ただし、オンライン教材の電子化や教材作成の外部業者協力等による著作権関連・再委託先との契約手続きについて、日本語教育機関が行うこと。
	シラバス概要	各日本語教育機関がもつ実績を生かし、よりよいオンライン日本語教育を確立するための実証を行う。 ① オンライン日本語教育の授業による実証(学校独自のカリキュラムや指導法によるもの) ② オンライン日本語教育のカリキュラム検討、作成および実証 ③ オンライン日本語教育の教材の作成および実証 ④ オンライン日本語教育の動画教材の作成および実証 いかなる取り組みにおいても、事業内で「実証」を行うことを要件とする。
評価の視点	各日本語教育機関の評価基準により、評価を行う。	
条件	実証実施対象機関	進学(大学・大学院・専門学校等)・就労(ビジネス)・一般(日常生活・一般教養等)を対象とした日本語教育機関
	学習進捗管理等	学習進捗管理はlearningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。
	準備等	オンライン授業実施のために必要な教材の準備等、日本語教育機関側で進める。
	その他の必要事項	教材の電子化や動画製作における再委託先との契約手続きは、各日本語教育機関で責任を持って行う。 既存の教材をベースにした教材開発を予定している場合は、教材会社と受託者として協議し、その内容を書面にすること。 実証事業内で製作する教材、動画について、月次で進捗の報告を行う。 最終事業報告の際、製作した教材や動画について、その一部または全部を納品・公開することに同意すること。
	日本語教師の人数	1コースに1名以上の日本語教師がいること。2名以上の日本語教師が必要な場合、その者の具体的な役割を明記すること。
	受講外国人留学生数	出願資格要件を満たし日本語教師機関が日本留学への意思を確認した要件を満たす外国人留学生が1コースにつき1名以上いること。

スタンダードコース

- ・オンライン教育初心者や経験の浅い日本語教育機関におすすめ
- ・受講前、受講中、受講後のテストで、実証の学習習熟度を確認できる
- ・ゼロ初級者向けに、ひらがな・カタカナを加えたオンライン授業もご用意

特徴

日本語教育機関で多く採用される『みんなの日本語初級 I』をベースに作成されたオンライン授業に適した教材を用い、授業を行います。

日本語レベル

A1、A2

手法

オンライン型、ハイブリッド型

実施回数・頻度

- ①『みんなの日本語初級 I』をベースにしたオンライン授業
(90分×20回)
- ②ゼロ初級者向けに上記にひらがな・カタカナを加えたオンライン授業
(90分×27回)



シラバス概要

- ①スリーエーネットワーク社が提供する『みんなの日本語初級 I』をベースにしたオンライン授業を行います。
- ②ゼロ初級者向けに、ひらがな・カタカナを加えたオンライン授業を行います。

スタンダードコース

概要	目的	オンライン教育スキルの底上げを行うと共に、日本語教育機関が参画しやすいオンライン対応カリキュラムを作成・整備し、オンライン日本語教育の裾野を広げる。現時点でオンライン教育が行えていない日本語教育機関、あるいはオンライン教育の効果に課題を感じている日本語教育機関向けに、オンライン教育に対する足がかりを作り、今後自律的に展開できる体制を整える。 診断的評価・形成的評価・到達度評価により日本語学習の成果を可視化する。
	概要・特徴	オンライン授業に適した教材を用い、やさしい文型から難しい文型へ、具体的な場面から抽象的な場面へ、会話を中心に楽しみながら日本語を習得することを目標とした授業を行う。
実証内容	日本語レベル	A1、A2
	手法	オンライン型、ハイブリッド型
	言語活動	話す(やりとり)・聞く・読み・書く
	言語種別	漢字圏、非漢字圏
	実証期間	10月～12月
	実施頻度・回数	①会話を中心とした、初級レベルのオンライン授業(90分×20回) ②会話に加え、ひらがな・カタカナを加えたオンライン授業(90分×27回)
	使用教材	『みんなの日本語初級Ⅰ』(スリーエーネットワーク社)
	シラバス概要	『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』『みんなの日本語初級Ⅰ第2版 翻訳・文法解説』の電子テキストを利用する。 ①会話を中心とした、初級レベルのオンライン授業を行う。 ・1日1回90分×週5回×4週間(全20回) ②会話に加え、ひらがな・カタカナを加えたオンライン授業を行う。 ・1日1回90分×週5回×5～6週間(全27回)
評価の視点	平仮名、カタカナ、語彙、文法、会話力等における習熟度を受講前、受講途中、受講後に調査し、比較・評価する。	
条件	実証実施対象機関	進学・就労・一般を対象とし、オンライン日本語教育の経験が浅い機関、新設校、独自カリキュラム作成が困難な日本語教育機関
	講師レベル・条件	『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』を使った対面授業経験があることが望ましいが、日本語初級レベルの教授経験があれば可。
	学習進捗管理等	学習進捗管理はlearningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。
	準備等	学習デバイスとして、カメラ付きのPCかタブレット端末の用意が必要であることを事前に受講者へ周知する。
	その他の必要事項	-

シラバス概要（スタンダードコース）

平仮名

第1回 あ行～ま行

- ① PPT・50音表を提示
- ② PPT・あ行を提示
- ③ PPT・「あ」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
- ④ PPT・「あさ」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
- ⑤ PPT・筆順を確認（空書）
- ⑥ ノートに練習「あさ」
- ⑦ PPT・確認問題 各行、上記に同じ * ⑦の確認問題は「かさ」

第2回 や行～濁音・半濁

- ① PPT・50音表を提示
- ② PPT・や行を提示
- ③ PPT・「や」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
- ④ PPT・「やさい」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
- ⑤ PPT・筆順を確認（空書）
- ⑥ ノートに練習「やさい」
- ⑦ PPT・確認問題 各行、上記に同じ * ⑦の確認問題は「かさい」

・
・
・

シラバス概要 (スタンダードコース)

片仮名

第4回 ア行～ワ行

- ① PPT・50音表を提示
 - ② PPT・ア行を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ③ PPT・「ア」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ④ PPT・「アイスクリーム」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ⑤ PPT・「ア」筆順を確認 (空書)
 - ⑥ ノートに練習「ア」
 - ⑦ PPT・確認問題
- * 各行、上記に同じ * ⑦の確認問題は「アイスクリーム」

第5回 濁音・半濁音・拗音

- ① PPT・50音表を提示
 - ② PPT・ガ行を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ③ PPT・「ガ」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ④ PPT・「ガ」筆順を確認 (空書)
 - ⑤ ノートに練習「ガ」
 - ⑥ PPT・「ギ」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ⑦ PPT・「ジョギング」を提示 教師の発音をもとに音の確認(コーラス)
 - ⑧ PPT・「ギ」筆順を確認 (空書)
 - ⑨ ノートに練習「ギ」
 - ⑩ PPT・確認問題 各行、上記に同じ * ⑦の確認問題は「ジョロング」
- * 語彙のないものは、音の確認のみ
(* 「ノートに練習」→ 一文字ずつ、あるいは一行ごと)

観光コース(観光場面を通じた日本事情)

★コースのポイント

- ・実際の観光シーンに役立つ、具体的な会話を盛り込んでいる
- ・自然に日本事情に親しめる内容になっている
- ・反転授業に加え、表記・翻訳等で理解を深められる
- ・日本観光を疑似体験するように、楽しみながら学ぶことができる

特徴

外国人留学生の関心が高い日本観光を授業のテーマとし、10地方の観光情報を紹介しながら、実際の観光シーンに役立つ具体的な会話を盛り込みました。各地方の観光地情報(観光スポット、グルメ、お土産、方言など)に触れ、自然に日本事情に親しめる内容になっています。日本観光を疑似体験により楽しむことで、日本語学習への意欲を掻き立て、コロナ禍で薄れがちになっている日本留学意欲を高める教材として役立てられるよう作成いたしました。

日本語レベル

A1、A2、B1

実施回数・頻度

90分×10回、または45分×20回

手法

オンデマンド型、ハイフレックス型



観光コース(観光場面を通じた日本事情)

シラバス概要

①観光ガイドにおいて国内No.1の発行部数を誇るJTBパブリッシングの旅行情報誌『るるぶ』等の観光素材(画像)を活用し、各地の観光地情報(名勝、食べ物、土産、方言など)を提供するとともに、タスクシラバスにより観光シーンでの会話各4編を収録します。

観光に必要な実用的な会話と少し発展的な応用会話もあり、授業のバリエーションが広げられ、またゼロ初級者から初級終了者までより多くの受講者が参加できるよう、反転授業に加え、表記・翻訳等で理解を深めます。(90分×10回)

②反転授業として視聴する事前学習用オンデマンドビデオを3言語(英語・中国語・ベトナム語)で制作します。ナレーションに翻訳字幕をつけ、その他にも翻訳を併記し、日本語のみの授業用教材にもローマ字表記を付記します。また、受講生の理解度確認・評価のため、授業回ごとのクイズも活用します。

観光コース(観光場面を通じた日本事情)

概要	目的	外国人留学生の関心が高い日本の名所観光を授業のテーマとし、各地の観光情報を提供するとともに、観光シーンにおける具体的な会話を盛り込むことで、コロナ禍で薄れがちになった日本での日本語学習意欲を高める教材で実証授業を行う。 外国人留学生が日本の名所観光への関心を高め、将来ホテルなどの観光業を就労先とした場合にも役立つよう実証を行う。
	概要・特徴	各地の観光資源情報(名所旧跡、郷土料理、お土産、方言など)の観光コンテンツに触れながら観光地での会話を取り上げ実践的な日本語の習得を目指す授業を行う。 受講者向け事前学習用オンデマンドビデオ(3言語:英語・中国語・ベトナム語)や教職員向けの教材用ビデオも用意する。
実証内容	日本語レベル	A1、A2、B1
	手法	ハイフレックス型
	言語活動	話す(やりとり)、話す(発表)、聞く、読む、日本事情・日本理解
	言語種別	漢字圏/非漢字圏(英語・中国語・ベトナム語)
	実証期間	10月~12月
	実施頻度・回数	90分×10回(週2回×5週間)または45分×20回(週4回×5週間)
	使用教材	オンデマンド教材(英語、中国語、ベトナム語訳付)、授業用パワーポイント
	シラバス概要	観光ガイドにおいて国内No.1の発行部数を誇るJTBパブリッシングの旅行情報誌『るるぶ』等の観光素材(画像等)を活用し、各地の観光地情報(観光スポット、食べ物、土産、方言等)を提供するとともに、タスクシラバスにより観光地での会話を取り上げ実践的な日本語の習得を目指す。 オンデマンド教材(3言語:英語・中国語・ベトナム語)を、事前に視聴することが必要である。
評価の視点	観光を中心とした日本事情への理解が深まり、及びタスク遂行に必要な語彙・表現が身についたかどうかクラスワークにより到達度を評価する。 クイズと受講前及び受講後のアンケートにより効果を測る。	
条件	実証実施対象機関	進学・就労・一般コースを実施する日本語教育機関
	講師レベル・条件	Zoomによるオンライン授業が実施できる
	学習進捗管理等	学習進捗管理はlearningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。
	準備等	受講者にオンデマンド教材の事前視聴が必要なことを周知する。
	その他の必要事項	-

シラバス概要（観光コース）

都道府県	地方	会話スポット	場面	参考:表現
東京	浅草	仲見世	①お土産を買う	いらっしやいませ ～をください ～は使えますか 少々お待ちください
		人力車乗り場	②人力車に乗る	いくらですか ちょっと～ですね ～だったら… お願いします こちらからどうぞ ご案内します
	原宿	竹下通り	①洋服を買う	何かお探しですか ちょっと見ているだけです ～てみませんか どうぞこちらへ ちょうどいいです
		ねこカフェ	②注文する	お時間は？ お飲み物は？ ～っていうんですよ あのう、～たいんですが… こちらからお選びください

シラバス概要（観光コース）

九州 (福岡) (鹿児島)	屋久島	鹿児島駅中央案内所	① 駅観光案内書で屋久島への行き方を聞く	～んですが、～ばいいですか。 ～ことができます。 どちらのほうが～。
		登山道入り口	② 登山中のゴミの処理について指示を仰ぐ	～はどうしたらいいですか。 ～から(理由) ～てください。 ～てはいけません。 ～ために、～
	博多	ラーメン屋台	① ラーメンを注文する	～、お願いします。 助数詞 少々お待ちください。
		土産物屋	② お土産を買う	いかがですか ～かもしれません ～てみる ～ておく ～へどうぞ

就労コース(就労場面を通じた日本事情)

★コースのポイント

- ・来日してから資格外活動したい受講者、いずれ高度人材として就職を希望する受講者向け
- ・日本事情も合わせて学ぶことができる内容
- ・具体的な日本語利用場면을動画で再現し、楽しく生きた会話を学ぶことができる

特徴

留学生のみならず、生活者・就労者を含む受講者を対象に、コンビニを舞台にした就労場面における日本語教材を開発しました。実際の日本語利用場면을想定しながら、具体的なシーンで利用できる生きた日本語の語彙や表現を習得し、さらに日本事情にも親しんでいただける内容となっております。

日本語レベル

A2, B1, B2, C

手法

オンデマンド型、ハイフレックス型

実施回数・頻度

週2回(90分(2シーン)×10回+90分(1シーン)×2回=12回)



就労コース(就労場面を通じた日本事情)

シラバス概要

①反転授業用の受講者向け学習オンデマンドビデオ(3言語:英語・中国語・ベトナム語訳付)、教職員向けの授業用ビデオ(日本語)、授業用PPT、授業用のマニュアルをご用意し、その使い方の説明会も実施します。

反転授業を初めて行う先生方も安心して実証していただけます。全22シーンの授業を行うコースです。

②留学生が、買い物客から店員として活躍し、最後は店長になるまでの過程を通じて、就労場面で使う日本語を学んでいきます。

- 1 オリエンテーション(日本での就労-資格外活動など)
- 2 「コンビニ顧客・従業員」顧客と従業員の会話シーン
- 3 「コンビニ従業員」従業員と店長の会話シーン
- 4 「コンビニ店長」店長と本部経営指導員の会話シーン
-マーケティング、マーチャンダイジング、店舗運営管理

就労コース(就労場面を通じた日本事情)

概要	目的	日本で勉強する留学生の5人に1人がコンビニでアルバイトをしている背景を踏まえ、コンビニでのアルバイト現場等の会話を盛り込んだオリジナルオンデマンド教材(反転授業の教材)を用い、学習意欲を維持しながら学べる教材で実証を行う。
	概要・特徴	留学生のみならず、生活者・就労者を含む受講者に対し、コンビニを舞台に日本事情に親しみながら学べるカリキュラムをもとに授業を行う。留学生が、買い物客から面接を経てアルバイトの定員として活躍し、最後は店長になる場面を通じて学習を進める。受講者向け事前学習用オンデマンドビデオ(3言語:英語・中国語・ベトナム語訳付)や、教職員向けの教材用ビデオ(日本語)、授業用PPT、授業マニュアルも用意。
実証内容	日本語レベル	A2、B1、B2、C
	手法	ハイフレックス型
	言語活動	話す(やりとり)、話す(発表)、聞く、読む、日本事情・日本理解
	言語種別	漢字圏・非漢字圏(英語・中国語・ベトナム語)
	実証期間	10~12月
	実施頻度・回数	90分(2シーン)×10回+90分(1シーン)×2回=12回(週2回×6週間)
	使用教材	オンデマンド教材(英語、中国語、ベトナム語訳付)、授業用パワーポイント
	シラバス概要	買い物客として使用する日本語の語彙や表現・日本においてのアルバイトで使用する日本語の語彙や表現・高度人材の就労の際に使用する日本語の語彙や表現を疑似体験により習得できる。オンデマンド教材(3言語:英語・中国語・ベトナム語)を、事前に視聴することが必要である。 具体的な場面として、次の4場面を設定した。 ①オリエンテーション(日本での就労、資格外活動、コンビニとはなど) ②「コンビニ顧客・従業員」顧客と従業員の会話シーン(接客) ③「コンビニ従業員」従業員と店長の会話シーン(作業指示、店内情報共有) ④「コンビニ店長」店長と本部経営指導員の会話シーン(経営指導:マーケティング、マーチャンダイジング、店舗運営管理)
評価の視点	各授業時のクイズと受講前及び受講後のアンケートにより効果を測る。	
条件	実証実施対象機関	日本で働く(アルバイト、高度人材)ことに興味がある学生を対象とした日本語教育機関
	講師レベル・条件	Zoomによるオンライン授業が実施できる
	学習進捗管理等	学習進捗管理はlearningBOXを利用。各受講者へ登録案内を行い、本システムを通じ出欠・成績・学習進捗管理を行う。
	準備等	受講者にオンデマンド教材の事前視聴が必要なことを周知する。
	その他の必要事項	教材の使い方についての説明動画視聴を推奨する。(採択後に案内)

シラバス概要（就労コース）

	場面・内容	目標
第1回	オリエンテーション ・資格外活動のルールについて ・コンビニについて(コンビニとは。仕事内容など)	留学生の資格外活動のルールがわかる。 コンビニとは何か理解できる コンビニ店員の仕事内容がわかる。
第2回	客として: レジでのやりとり(通常商品の購入や電子マネー支払いをする)	店員の問いかけに対し、受け答え(レジ袋の要不要と支払方法を伝えること)ができる。
第3回	客として: レジでのやりとり(温め・袋詰め希望を伝える)	店員の問いかけに対し、受け答え(温め・袋分けの返事)ができ、袋の値段を聞くことができる。
第4回	客から店員として: 店長とのやりとり(面接を受ける)	アルバイトの面接で、志望理由やシフトの条件などを話すことができる。
第5回	店員として: 店長とのやりとり(初出勤でお店の案内、出勤退勤など働く時の注意事項を聞く)	初出勤の職場であいさつができ、店長からの注意事項を理解できる。
第6回	店員として: レジでの接客(付属品の説明とクーポンの利用時の対応をする)	付属品の案内とクーポン利用客への対応ができる。

シラバス概要（就労コース）

第18回	店員として： 店長との会話(暑い日の作業指示を受け、対応する)	店長の依頼を理解し、行動できる。
第19回	店員として： 店長との会話(ミスを報告する)	店長に報告・連絡ができ、ミスを詫びることができる。
第20回	店員として： 店長との会話(提案する)	接客で気づいたことから、店長に品揃えの提案ができる。
第21回	店長として： 本部経営指導員との会話(経営のビジョンを持ち、現状分析を行う)	店舗の将来像を考え、現状分析ができる。
第22回	店長として： 本部経営指導員との会話(発注分担を任せることを決める)	発注分担を任せる意味が理解できる。